

2022年度 京都府高等学校体育連盟フィギュアスケート競技会 要 項

- 主 催 京都府高等学校体育連盟 京都府 京都市教育委員会 京都府教育委員会
- 主 管 京都府高等学校体育連盟スケート専門部・京都府スケート連盟
- 競技規程 ISU及び(財)日本スケート連盟規程による。
- 競技期日 フィギュア競技 令和4年11月19日(土)
競技予定 16:00～17:45 中学校大会終了次第 高校の部を開始します
競技時間割等の詳細については、参加選手数判明後計画を立てますので、大会開催前に『京都府スケート連盟(ホームページ)→フィギュア』で確認してください
- 競技会場 木下アカデミー京都アイスアリーナ(京都宇治アイスアリーナ)
〒611-0021 京都府宇治市宇治折居24 TEL:0774-24-6101
- 競技種目 フリースケーティング(ISUジャッジング・システムで採点を行う)
選手権男子(6級以上) フリー3分30秒 選手権女子(7級以上) フリー3分30秒
ジュニア選手権女子(6級) フリー3分30秒
※今大会は、競技開催時間の確保が短いため、エントリーは、6級以上の選手に限らせていただきます。
- 課 題 2022年～2023年ISUおよび日本スケート連盟規定による(詳細は別紙)
- 参加資格 京都府高等学校体育連盟加盟の高等学校に在学中の生徒で、所属学校長の承認を得た者。
申込締切日の時点で各級に該当する総合合格者であること。
- 表 彰 各種目の優勝者に盾と賞状を、入賞者(3位まで)に賞状を贈る
- 申込方法 **締め切り日までに、日本スケート連盟のマイページから参加申し込みをするとともに、大会申込書を下記に送付すること。**
予定要素は、締め切り日までに入力しておくこと。予定要素票の再提出は、音楽媒体提出時まで受け付ける。
※実際の演技の際に、予定を変更して演技することは可。
※スケート連盟のホームページから申し込みできない場合は、事務局に連絡し、申込書と予定要素票を送付すること。
- 申 込 先 〒604-8851 京都市中京区壬生上大竹町13番地 京都両洋高等学校内
京都府高体連スケート専門部 事務局 細辻 吉弘宛
TEL 075-841-2025 (学校) FAX 075-841-0178(学校) e-mail:hosotsuji@kyoto-ryoyo.ed.jp
- 申込締切日 **2022年10月28日(金) 必着**
- 音 楽 CD
(注)・出場種目、氏名、所属及び演奏時間を明記すること。シール等を媒体に貼らないこと。
・予備で別の媒体を必ず持参し、演技中の音楽トラブル発生時にすぐに提出出来るよう準備しておくこと。
・CD-RWは不可。
- 留 意 点 **・2022年度全国高校総体フィギュア競技の男子、女子の参加選手については、開催地の事情により、選手数の制限を行って実施(埼玉県にて)することになっています。そのため、この大会は、全国大会の予選ではありません。**
・競技会中の事故等については応急処置のみとする。
・必ず当該高校の教職員が引率してください。
・参加者はスポーツ傷害保険等に必ず加入しておくこと。
・新型コロナウイルス感染予防対策は別紙を参照のこと。
- そ の 他 種目別競技日程は、申込締切後に参加人数に応じて決定する。
申込締切日後に京都府スケート連盟審判員立ち会いの上、全ての種目の滑走順を事前に抽選する。

キリトリ線

《 () 内の該当するものに○印を付けること 》					
大会名	2022年度 京都府高等学校体育連盟フィギュアスケート競技会 参加申込書				
学校名【	】高等学校 氏名【	】学年【	】(男・女)		
出場種目	フィギュア競技: (男子、女子) (選手権、ジュニア選手権)				
申込締切日現在のあなたのバジテスト総合合格級【	】級	生年月日【	】年【	】月【	】日
上記の通り申し込みます					
学校名【	】	学校長名【	】	印	

新型コロナウイルス感染症対策・全国インターハイについて

○ 新型コロナウイルス感染症対策について

1. 今大会は原則、無観客での大会とします。選手1名につき、監督・顧問(引率者)、コーチ、保護者及び付き添い者(2名まで可)、大会関係者以外は入場できません。一般の方の入場はできません。
2. 選手、監督・顧問(引率者)、コーチ、保護者及び付き添い者、大会関係者は、大会1週間前から大会当日まで、JSFヘルスチェックアプリで記録するか、日ス連の用意している健康調査票に事前に記入をして、当日会場受付に提出してください。アプリ登録に洩れ日がある場合は、洩れ日のみを健康調査票に記載して提出してください。受付で、健康調査票は配布しておりませんので、各自でご準備ください。

また、会場にて検温を受けてください。

3. 選手・監督・顧問(引率教員)・コーチ・保護者及び付き添い者、役員は、当日朝に37.5℃以上の発熱があれば、会場に來場せず自宅待機してください。また、受付時に体温を測定し、37.5℃以上の熱があれば出場を認めません。
4. 会場内ではマスクの着用をお願いします(競技中、アップ時などを除く)。こまめな手洗い、うがい、消毒をお願いします。
5. 個人の荷物はできるだけ1つにまとめ、自分で管理すること。自分で持ち歩き、他人の手に触れないようにすること。
6. 開会式は、密になることを避けるため、選手は集合せず、放送でのアナウンスとする。
7. 閉会式・表彰式は実施しない。賞状・メダルは、後日所属高等学校に郵送する。
8. 会場内では、『保護者等付添者 観覧エリア』、『保護者等付添者 撮影エリア』、『スケート靴脱着 エリア』等が定められています。守ってください。『保護者等付添者 撮影エリア』での撮影は、当該選手の関係者のみ、演技時間のみに限ります。
9. ごみは各自持ち帰ってください。

○ 2022年度全国高等学校総合体育大会(全国高校総体)フィギュアスケート競技について

- ・開 始 式:令和5年1月16日(月)
- ・競 技:令和5年1月16日(月)～17日(火) (埼玉県上尾市:埼玉アイスアリーナ)
- ・参加資格 :第72回埼玉大会については、規模を縮小して開催されます。男子、女子ともにバジテスト7級取得者で、出場選手数は男子24名、女子36名を最大とする。選考方法については、別に定められています。そのため、今回の大会は、全国高校総体(インターハイ)の予選という位置づけではありません。

健康調査票

大会名	2022年度 京都府高等学校体育連盟フィギュアスケート競技会
-----	-----------------------------------

登録番号	所属											
氏名					年齢	歳						
住所												
連絡先(電話番号)									大会期間中			
月/日	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	初日	2日目	3日目	4日目	
<input type="checkbox"/> 体温	°C	°C	°C	°C								
<input type="checkbox"/> 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状												
<input type="checkbox"/> だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)												
<input type="checkbox"/> 嗅覚や味覚の異常												
<input type="checkbox"/> 体が重く感じる、疲れやすい等												
<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症陽とされた者との濃厚接触の有無												
<input type="checkbox"/> 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合												
<input type="checkbox"/> 過去3日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等から帰国した場合												
<input type="checkbox"/> 過去7日以内に海外渡航歴												
渡航国名(滞在先・経由地)								渡航期間	~			
相談記述: 相談したいこと、連絡しておきたいことが有れば、記載して下さい。												
<input type="checkbox"/> 本人サイン												

記載に関して:

体温は計測の数値を記入。

健康状態は、選択ボタンから有無を選択。(プリントアウトした場合は、有り(O)、無し(X)を記入。)

7日以内に海外渡航歴がある場合は、渡航先(滞在地・経由地)を記載のこと。

健康等相談、連絡したいことが有れば、記載してください。

2022年度 京都府高等学校体育連盟フィギュアスケート競技会 実施時の感染防止策チェックリスト（参加者向け）

京都府高等学校体育連盟スケート専門部

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（事前に連絡すること）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去3日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等から帰国した場合
- マスク（不織布が望ましい）を持参すること（移動時や着替え等、活動以外の際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- 各自の飲料水やタオルを持参するとともに、コップやボトルの共用がないようにすること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること（活動前後、活動場所を離れた際等）
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に、最低1m）を確保すること
- 大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために専門部が決めたその他の措置を遵守し、専門部の指示に従うこと
- 活動前後のミーティング等においても、3つの密（密集・密閉・密接）を避けること
- 事業実施後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに専門部へ濃厚接触者の有無等について報告すること

参加者が活動を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 運動・スポーツの種類に関わらず、活動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
 - 強度が高い運動の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- （※）感染予防の観点から少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- 位置取り：運動時においては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと
- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、適切に処理すること
- 個人の荷物はできるだけ1つにまとめ、自分で管理すること。自分で持ち歩き、他人の手に触れないようにすること。

